

取扱説明書

二次元コードリーダー (FMV-DCR311)

はじめに

このたびは、弊社の二次元コードリーダー (FMV-DCR311) (以降、本製品) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本紙には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2014 年 6 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

FUJITSU

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

梱包物を確認してください

本製品をご使用になる前に、次の物が梱包されていることをお確かめください。万一、破損や足りない物がございましたらおそれ入りますが、ご購入元にご連絡ください。

☐ 二次元コードリーダー

☐ 保証書

☐ 取扱説明書（本書）



マニュアルについて

- 本製品の接続、二次元コードやバーコードの読み取り方について、本書をご覧ください。
- コードメニューについては、インターネット上の『コードメニュー』（<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ocr/manual/>）をご覧ください。

本書の表記について



■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。



 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを表しています。

■ 警告表示について

本紙では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
FMV-DCR311	本製品	
Windows 8.1	Windows 8.1	Windows
Windows 8.1 Pro		
Windows 8.1 Enterprise		
Windows 8	Windows 8	
Windows 8 Pro		
Windows 8 Enterprise		
Windows 7 Ultimate	Windows 7	
Windows 7 Enterprise		
Windows 7 Professional		
Windows 7 Home Premium		
Windows 7 Starter		

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。各製品は各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2014

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱いしてください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

⚠ 警告



- ・万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体のケーブルをプラグから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品をプラグから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・本製品を落としたり、カバーなどを破損したりしたときは、パソコン本体の電源を切り、本製品をパソコン本体の USB コネクタから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・清掃のとき、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。



- ・コネクタに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

⚠ 注意



- 本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- 本製品の開口部を布でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、カバーが変形し、火災の原因となることがあります。風通しの良い状態でご使用ください。



- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 本製品のケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 本製品のコネクタを抜くときはケーブルを引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。
ケーブルを引っ張ると、芯線が露出したり断線したりして、火災の原因となることがあります。



- 本製品を振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本製品で、肩をたたいたり、ケーブルを持って振り回さないでください。
けがをしたり、故障の原因となることがあります。



- ベンジン、シンナーで拭いたり、防虫剤をかけたりしないでください。
ひび割れ、引火の原因となることがあります。



- 本製品の読み取り窓から光源をのぞき込んだり、人の目に読み取り窓を向けたりしないでください。
この光が目に入ると目の痛みなど、視力障害などを起こすことがあります。



- 本製品をふる場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品の上や周りに、花瓶・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

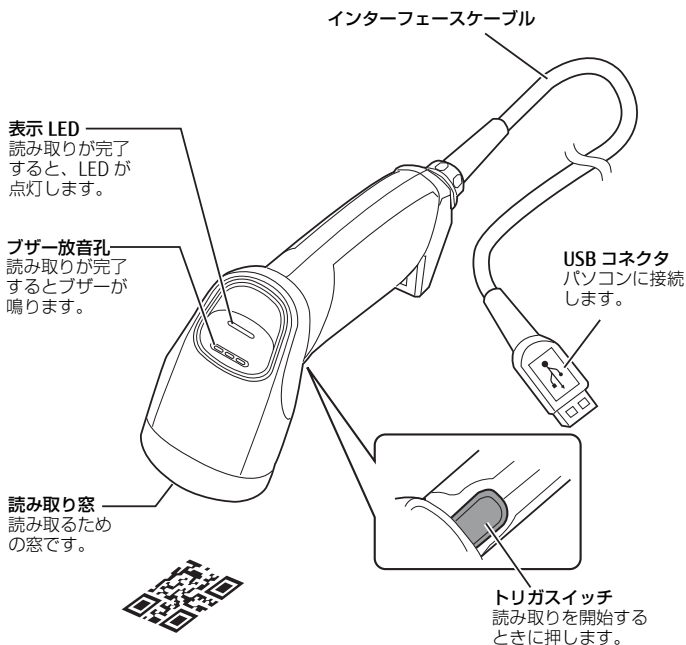


- ・ぬれた手でインターフェースケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。



- ・インターフェースケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、「富士通ハードウェア修理相談センター」、または購入元にご連絡ください。そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

1 各部の名称と働き



2 接続

動作環境

■ 対応パソコン

本製品は富士通製パソコンでお使いになれます。

対象機種については、富士通製品情報ページ内の「システム構成図」(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/>)をご覧ください。

■ 対応 OS

- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7

接続する

- 1 パソコン本体を起動します。
- 2 本製品の USB コネクタを、パソコン本体の USB コネクタに差し込みます。
Windows の標準ドライバーで動作します。

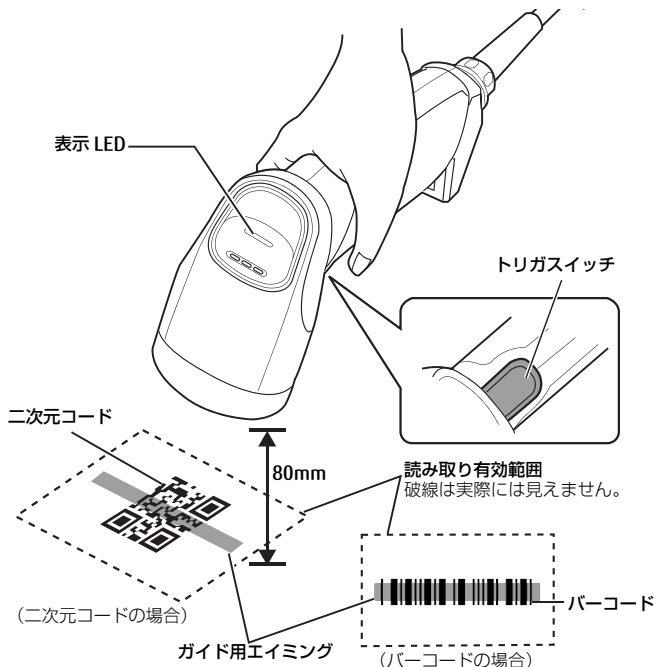
重要

- ▶ パソコンの USB 機器の認識および取り外しには、数秒から 10 秒程度かかる場合があります。USB コネクタの抜き差しは 10 秒以上の間隔をあけて行ってください。
- ▶ パソコンの電源が入っている状態でも、USB コネクタの抜き差しは可能です。ただし、パソコンがスタンバイ（スリープ）中には、USB コネクタの抜き差しは行わないでください。
- ▶ 本製品の接続処理中に、他の USB 機器の抜き差しを行わないでください。
- ▶ ケーブルの延長は行わないでください。
- ▶ ハブ接続をする場合、USB では 5 段までの直列接続ができますが、実際の運用では 2 段までの直列接続でご使用になることをお勧めします。

3 読み取り方

コードの読み取り

- 1 トリガスイッチを押します。
- 2 二次元コードリーダーから照射される緑色のガイド用エイミングとコードの中心を合わせます。



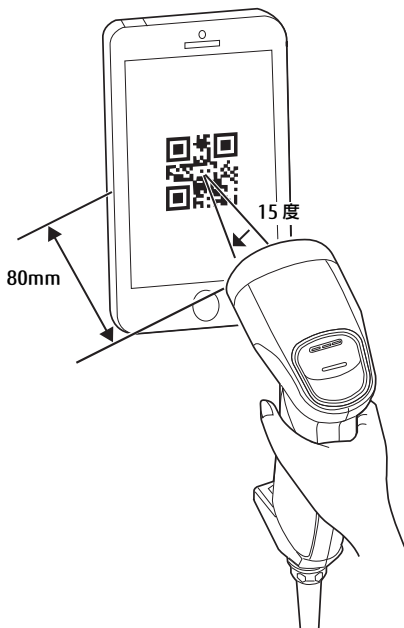
- 3 読み取りが正常に完了すると、表示 LED が緑色に点灯し、ブザーがピー（単音）と鳴ります。

画面に表示されたコードの読み取り

画面にコードを大きく表示し、画面と二次元コードリーダとの距離を 80mm 程度離し、角度を 15 度程度傾けてください。

1 トリガスイッチを押します。

読み取りが難しい場合は、画面または二次元コードリーダの角度を調整してください。



2 読み取りが正常に完了すると、表示 LED が緑色に点灯し、ブザーがピィ（単音）と鳴ります。

重要

▶ 表示されたコードの細部がつぶれていると読み取れない場合があります。表示がつぶれないように画面表示を調整してください。

- ▶ 画面に蛍光灯などの光源が写り込むと読み取れない場合があります。
画面に光源の反射がない状態で読み取りをしてください。
- ▶ 画面が汚れたり、模様が付いた保護シートが貼られた場合、読み取れない場合があります。

中央読み

読み取るコードに複数のコードが隣接している場合、読み取りたいコードを正確に読み取るために中央読み機能があります。コードメニューによって、中央読み取りを有効にできます。コードメニューについては、『コードメニュー』をご覧ください。

- 1 トリガスイッチを押します。
- 2 トリガスイッチを押しながら、読み取るコードにガイド用エイミングがコードの中央部分に重なるように二次元コードリーダを動かします。

重なった場合に、読み取りが可能となります。



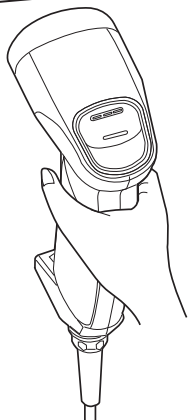
- 3** 読み取りが正常に完了すると、表示 LED が緑色に点灯し、ブザーがピィ（単音）と鳴ります。

連結 QR コードの読み取り

1 つのデータを複数の QR コードに分割したコードを、連結 QR コードといいます。連結コードは、二次元コードリーダー側で自動で認識し、読み取ります。

- 1** トリガスイッチを押します。
- 2** トリガスイッチを押しながら 1 つ目のコードを読み取ると高音で短いブザーがピッとなります。
- 3** 続けて 2 つ目のコードに合わせます。

コードメニューによって、この中間に鳴るブザーを無効にできます。コードメニューについては、『コードメニュー』をご覧ください。



一つずつ読ませてください。

- 4** すべての連結コードの読み取りが正常に完了すると、表示 LED が緑色に点灯し、ブザーがピィ（単音）と鳴ります。

4 パラメーターの設定

コードの種類や各機能などのパラメーター設定は、QR コードメニューを読み取ることで選択できます。ご購入時の設定以外の機能で使用する場合は、QR コードメニューで設定してください。

ただし、例外として「QR コードを読み取らない」設定で「読み取る」設定にする場合、設定用 QR コードの読み取りもできなくなります。手順として、設定コードメニューを読み取る前後にバーコードの設定開始、設定終了を読み取ります。

「初期化」を設定すると、QR コードメニューで設定するすべての項目がご購入時の状態になります。ご購入時の状態は、コードメニューに<>で示しています。コードメニューについては、『コードメニュー』をご覧ください。

5 ブザー、表示 LED による状態通知

ブザーまたは表示 LED によって、本製品の状態を通知できます。

読み取り確認

ブザーや表示 LED によって、バーコードおよび二次元コードの読み取りが成功したことを通知します。

■ ブザーの設定

ブザーは次の項目をコードメニューで変更することができます。ブザーは次の項目が設定可能です。

項目	設定内容	初期設定
読み取り成功時のブザー	有効	○
	無効	—
起動時のブザー	有効	○
	無効	—
連結 QR コード読み取り時の中間ブザー	有効	○
	無効	—
ブザーの音量 ^注	最大	—
	大	○
	中	—
	小	—

注： 音量の設定はそのすべての状態通知時で有効です。

その他の状態通知

ブザーや表示 LED の点灯パターンによって、エラー発生やコードメニュー読み取りなどの本製品の状態を通知します。

状態	通知方法	LED の状態	LED の色
起動	「ピロリ」とブザーが鳴ります。	—	—
バーコードメニューの読み取り時	開始メニュー 1 またはメニューを読み取ると、「ピロリ」と鳴ります。	—	—
バーコードメニューの読み取り中	設定モード中は、「ピッ」、「ピッ」、「ピッ」と鳴ります。	—	—
コードメニュー設定の完了時	「ピロリピロリピロリ」とブザーが鳴ります。	—	—
USB通信が確立されていない	通信ができないとき「ビビビッ」とブザーが鳴ります。	点灯	赤
読み取り完了	「ピッ」と鳴ります。	点灯	緑

6 インターフェース

本製品は、USB キーボードインターフェースおよび USB 仮想 COM インターフェースをサポートしています。

漢字（2 バイト文字）を転送する場合は、USB 仮想 COM インターフェースをご使用ください。

POINT

▶ 本製品は、USB 2.0 Full Speed に準拠しています。

USB キーボードインターフェース

USB キーボードインターフェースは、専用のドライバーを必要とせず、読み取ったデータをアプリケーションのカーソル位置に直接入力できます。

■ キーボード言語

日本語キーボード（106/109）または US キーボード（101/104）を設定できます。ご購入時は「日本語」に設定されています。

■ 漢字出力

コードデータに漢字（2 バイト文字）が含まれている場合、次の項目をコードメニューで設定できます。ご購入時は「1 バイト出力」に設定されています。

出力モード	初期設定
1 バイト出力	○
Shift-JIS 漢字出力 ^注	—
UTF-8 漢字出力 ^注	—

注：読み取るコードと出力先のアプリケーションの文字コードとを合わせてください。両方またはいずれかが正しくない場合文字化けします。

USB 仮想 COM インターフェース

USB 仮想 COM インターフェースは、専用のドライバーを必要とします。

USB 仮想 COM インターフェースの使用には、マニュアルをご覧ください。二次元コードリーダーの設定とドライバーなどの専用ソフトウェアのインストールをしてください。

マニュアルおよびソフトウェアは富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html) よりダウンロードできます。

「周辺機器」の「入力機器」から本製品の型名を検索してダウンロードしてください。

7 出力フォーマット

■ 出力フォーマット

出力フォーマットは次のとおりです。

コード ID	コードデータ	ターミネータ
--------	--------	--------

ロ コード ID

付加データの中には、コードの種類を識別するためのコード ID があります。

付加されるコード ID とコードの種類を次の表に示します。

コード ID を付加する場合、次の項目をコードメニューで設定できます。

コード ID 表			
コードの種類	コード ID	コードの種類	コード ID
UPC-A ^注	C	CODABAR (NW-7)	R
UPC-A アドオン 2 桁	F	CODE39	V
UPC-A アドオン 5 桁	G	CODE93	U
UPC-E ^注	D	CODE128、GS1-128	T
UPC-E アドオン 2 桁	H	GS1 DataBar (各種)	y
UPC-E アドオン 5 桁	I	QR コード	u
EAN-13 ^注	B	マイクロ QR コード	j
EAN-13 アドオン 2 桁	L	PDF417	r
EAN-13 アドオン 5 桁	M	マイクロ PDF417	s
EAN-8 ^注	A	DataMatrix	t
EAN-8 アドオン 2 桁	J	Maxi コード	v
EAN-8 アドオン 5 桁	K	Aztec コード	o
Standard 2 of 5	O	GS1 DataBar Composite	y
Interleaved 2 of 5	N	GS1-128 Composite	T

注：UPC-A、UPC-E、EAN-13、または EAN-8 はそれぞれ Composite コードの場合も同じ ID です。

□ コードデータ

コードデータの出力フォーマットについては、「読み取りコードフォーマット」(→ P.16)」をご覧ください。

□ ターミネータ

コードデータとは別にターミネータ(末尾)にデータを付加することができます。初期設定では改行キー(Enter キー)が付加されています。

ターミネータを変更する場合は、コードメニューで設定できます。

8 読み取りコードフォーマット

各コード種別の転送データの並びは次のとおりです。

読み込んだコードデータに対して、C/D(チェックデジット)の出力を行うかどうかを設定できます。

□ UPC-A

0	データ(11桁)	C/D
---	----------	-----

□ UPC-E

0	データ(6桁)	C/D
---	---------	-----

□ EAN-13

データ(12桁)	C/D
----------	-----

□ EAN-8

データ(7桁)	C/D
---------	-----

□ UPC/EAN アドオン付き

UPC/EAN データ	アドオンデータ(2桁または5桁)
-------------	------------------

□ Standard 2 of 5, Interleaved 2 of 5

データ	C/D
-----	-----

データを出力します。

チェックデジットの出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODABAR (NW-7)

スタートコード	データ	C/D	ストップコード
---------	-----	-----	---------

スタートコード、ストップコードを除くデータを出力します。

スタートコード、ストップコード、およびチェックデジットの出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODE39

スタートコード	データ	C/D	ストップコード
---------	-----	-----	---------

スタートコード、ストップコードを除くデータを出力します。

スタートコード、ストップコード、およびチェックデジットの出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODE93

スタートコードの次のキャラクタから、チェックデジットの前のキャラクタまで順に転送します。

スタートコード、ストップコード、およびチェックデジットは転送されません。

□ CODE128、GS1-128

スタートコードの次のキャラクタから、チェックデジットの前のキャラクタまで順に転送します。

スタートコード、ストップコード、FNC コード、およびチェックデジットは転送されません。

ただし、CODE128 と GS1-128 の次の場合での FNC1 は、< GS > (1Dh) に変換されて転送されます。

- ・スタートコードの次のキャラクタが FNC1 で、キャラクタ 1 以降に FNC1 がある場合
- ・スタートコードの次のキャラクタが FNC1 以外で、キャラクタ 2 以降に FNC1 がある場合

□ GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited

01	データ
----	-----

□ GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked

データ

□ QR コード、マイクロ QR コード、PDF417、マイクロ PDF417、DataMatrix、Maxi コード、Aztec コード、GS1-Databar Composite、GS1-128 Composite、EAN/UPC Composite

データ

9 困ったときには

コードを正しく読み取りできない

確認事項	処置
読み取り位置にコードが正しく当てられていますか。	コードを正しく読み取り位置に当ててください。「コードの読み取り」(→ P.8)をご覧ください。
コードが汚れていませんか。	コードの汚れを拭き取ってください。
コードがかすれていませんか。	かすれていないコードを使用してください。

コードの読み取りができない

確認事項	処置
読み取るコードが読み取り許可に設定されていますか。	読み取るコードを読み取り許可に設定してください。
コードにチェックデジットがないのに、読み取りコードがチェックデジットありに設定されていませんか。	チェックデジットなしの読み取り許可に設定してください。
スキャンしたコードのチェックデジットが間違っていないですか。	正しいコードを使用してください。
パソコンの省電力機能が動作中ではありませんか。	省電力機能を OFF にしてください。

コードのデータが正しくパソコンに表示されない

確認事項	処置
パソコンのキーボードが、本製品に設定されているキーボード言語と異なっていませんか。	パソコンと同じキーボード言語(コントロールパネルの「キーボード」にて確認できます)に設定してください。

確認事項	処置
かな漢字変換が機能しており、ローマ字かな変換されていませんか。または入力した文字列が全角文字になっていませんか。	パソコンを英数字半角入力モードに設定してください。
OS 標準のドライバー以外のドライバーを使用していないですか。	OS 標準のドライバーを使用してください。
キーボードと同時に操作をしていませんか。	コード読み取り時にはキーボードを押さないでください。

漢字が出力できない／文字化けする

確認事項	処置
漢字出力モードに設定されていますか。	USB キーボードインターフェースの出力モードは「漢字出力モード」に設定してください。
文字コードは正しく設定されていますか。	読み取るコードの文字コードを設定してください。
読み取るコードと出力先アプリケーションの文字コードは一致していますか。	文字コードを一致させてください。
本製品が USB 仮想 COM インターフェースに設定されていますか。	コードメニューで USB 仮想 COM インターフェースに設定してください。

文字が表示されずしばらくして「ピピピッ」とブザーが鳴る

確認事項	処置
USB キーボードインターフェースに設定されていますか。	コードメニューで USB キーボードインターフェースに設定してください。 なお、USB 仮想 COM インターフェースを使用する場合は対応する専用ソフトウェアをインストールしてください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、次のそれぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

■ ハードウェアの故障、修理

□ 法人のお客様

「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・ 通話料無料 0120-422-297
- ・ 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

□ 個人のお客様

「故障や修理に関する受付窓口」

- ・ 通話料無料 0120-926-220
- ・ 受付時間 9:00～19:00（システムメンテナンス日を除く）

■ 技術的なご質問、ご相談

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

- ・ 通話料無料 0120-950-222
- ・ 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く）
- ・ 受け付け後に、専門技術員からのコールバックとなります。
- ・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・ システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

10 日常のお手入れ

- ・ 読み取り窓は、常にきれいな状態でご使用ください。
- ・ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- ・ 内部保守の必要はありませんので、決して分解をしないでください。

11 本製品の廃棄

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。

■ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

12 仕様

項目		仕様
読み取りコード	読み取りバーコード	JAN 標準、JAN 短縮、EAN-13、EAN-8、UPC-A、UPC-E、UPC/EAN アドオン付き、Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5、CODE39、CODABAR (NW-7)、CODE93、CODE128、GS1-128、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked

項目		仕様
読み取りコード	バーコードの桁数／倍率	<ul style="list-style-type: none"> • CODABAR NW-7：読取最小桁数 1 桁、最大 44 桁（スタート／ストップコードを含む） • CODE39：読取最小桁数 1 桁、最大 37 桁（スタート／ストップコードを除く） • Interleaved 2 of 5：読取最小桁数 1 桁、最大 62 桁 • CODE93：読取最小桁数 1 桁、最大 51 桁（スタート／ストップコードおよび 2 桁のチェックデジットを除く） • Standard 2 of 5：読取最小桁数 1 桁、最大 38 桁 • CODE128、GS1-128：読取最小桁数 1 桁、最大 46 桁（スタート／ストップコードおよび 1 桁のチェックデジットを除く） • GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited：14 桁 • GS1 DataBar Expanded：最大 10 セグメント • GS1 DataBar Expanded Stacked：最大 10 セグメント、最大 11 段 • JAN 標準、EAN-13、UPC-A：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.7 倍 • JAN 短縮、EAN-8、UPC-E：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 2.0 倍 • EAN-13/UPC-A 2 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.4 倍 • EAN-13/UPC-A 5 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.2 倍 • EAN-8/UPC-E 2 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.9 倍 • EAN-8/UPC-E 5 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.6 倍
	読み取り二次元コード	QR コード、マイクロ QR コード、PDF417、マイクロ PDF417、DataMatrix（ECC200）、Maxi コード、Aztec コード、GS1 DataBar Composite
	二次元コードの桁数	<ul style="list-style-type: none"> • QR コード：最大 7089 桁 • マイクロ QR コード：最小 1 桁、最大 35 桁 • PDF417：最大 2710 桁 • DataMatrix（ECC200）：最大 3116 桁 • Maxi コード：最大 93 桁 • Aztec コード：最大 3832 桁
読み取り部	読み取り方向（回転）	360° 全方向読み取り可能
	読み取り角度縦（仰角）	± 50°
	読み取り角度横（傾角）	± 50°
	最小分解能	0.127mm（バーコード） 0.169mm（QR コード）
	PCS 値	0.3 以上
	読み取り基準距離	約 80mm

項目		仕様
読み取り部	読み取り光源	LED（赤）
	ガイド用エイミング光源	LED（緑）
インターフェース		USB 2.0
入力電源	使用電源電圧	パソコン本体より供給（DC 5V）
	消費電流	300mA（最大）
環境条件	使用温度・湿度範囲	10 ～ 35 ℃、20 ～ 80% RH（結露なきこと）
	使用照度範囲	蛍光灯（屋内）：10,000 lx、太陽光（屋外）：100,000 lx
外形寸法		W56 × D108 × H149mm（ケーブルは含まない）
ケーブルの長さ		約 2m
質量		約 175g

13 付録

コードサンプルラベル



UPC-A



UPC-E



9 7 8 0 1 3 1 1 0 3 6 2 7

EAN-13 (JAN 標準)



6 5 3 7 8 8 2 3

EAN-8 (JAN 短縮)



0 2 1 3 2 2 4 0 2 2

UPC-E 2桁アドオン



EAN-13 5桁アドオン



Standard 2 of 5



Interleaved 2 of 5



01235

CODABAR (NW-7)



CODE39

CODE39



CODE 93

CODE93



0135792468

CODE128



012451323901038717130100304100301100223

GS1-128



0117834783468340

GS1-DataBar Limited



012345ABCDE

GS1-DataBar Expanded



QR Code sample bar code.

QR コード



1415296553897

マイクロ QR コード



PDF417 sample bar code.

PDF417



MicroPDF417 sample bar code.

マイクロ PDF417



DataMatrix sample bar code.

DataMatrix



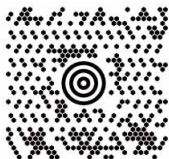
NegativeDataMatrix

白黒反転 DataMatrix



Aztec sample bar code.

Aztec コード



MaxiCode sample bar code.

Maxi コード



0113153146413457

cc-a ab54

GS1-DataBar Limited Composite



1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 8

EAN-13 Composite

二次元コードリーダ (FMV-DCR311) 取扱説明書

B6FY-2621-01-00

発行日 2014 年 6 月 発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

OPI36019040-0-00